

京都市交通局職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程の一部を改正する規程を公布する。

令和7年9月30日

京都市公営企業管理者

交通局長 北村 信幸

京都市交通局管理規程第4号

京都市交通局職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程

京都市交通局職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
(介護休暇) 第12条 (略)	(介護休暇) 第12条 (略)
(介護時間) 第12条の2 (略) 2 (略) 3 介護時間の承認は、 <u>正規の勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日を通じて2時間</u> <u>(地方公務員の育児休業等に関する法律第19条第1項の規定による部分休業を承認されている職員にあっては当該部分休業の承認を受けて勤務しない時間、管理者が定める職員にあっては管理者が定める時間をそれぞれ2時間から差し引いた時間)を超えない範囲内で15分を単位として行うものとする。</u>	(介護時間) 第12条の2 (略) 2 (略) 3 介護時間の承認は、1日を通じて2時間 ( <u>地方公務員の育児休業等に関する法律第19条第2項第1号に掲げる範囲内で請求する同条第1項に規定する部分休業の承認を受けて勤務しない時間、管理者が定める職員にあっては管理者が定める時間をそれぞれ2時間から差し引いた時間)を超えない範囲内で15分を単位として行うものとする。</u>
4 (略)	4 (略)
(新設)	<u>(親族が介護を必要とする状況に至った職員等に対する措置)</u>

<p>(新設)</p>	<p><u>第 12 条の 3 管理者は、職員が管理者に対して、親族が当該職員の介護を必要とする状況に至ったことを申し出たときは、当該職員に対して、仕事と介護との両立に資するものとして介護に関する制度又はその他の事項を知らせるとともに、介護に関する請求又は申出に係る当該職員の意向を確認するための面談、その他の措置を講じなければならない。</u></p> <p><u>2 管理者は、職員に対して、当該職員が 40 歳に達した日の属する年度（4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までの期間をいう。）において、前項に規定する事項を知らせなければならない。</u></p> <p><u>3 管理者は、職員に対して介護に関する制度又は措置その他必要な事項を知らせるとともに、職員の意向を確認するための措置を講ずるに当たっては、請求又は申出を控えさせることとならないように配慮しなければならない。</u></p> <p><u>（勤務環境の整備に関する措置）</u></p> <p><u>第 12 条の 4 管理者は、介護に係る請求又は申出が円滑に行われるようにするため、相談体制の整備及びその他勤務環境の整備に関する措置を講じなければならない。</u></p>
-------------	--

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

附 則

(施行期日)

この規程は、令和7年10月1日から施行する。

(交通局企画総務部職員課)